

製品名: カップオピオイド受容体ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02185**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 60 kDa

抗原情報

遺伝子名	Oprk1
別名	KOR; R21; KOR-1; MSL-1; Oprk2; K-OR-1
遺伝子 ID	18387.0
SwissProt ID	P33534
免疫原	マウス κ オピオイド受容体の合成ペプチド

背景

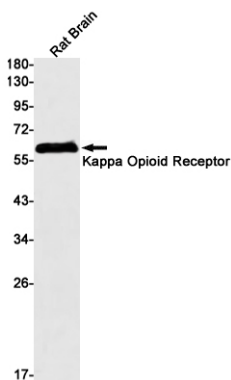
G タンパク質共役オピオイド受容体。内因性 α-ネオエンドルフィンおよびダイノルフィンの受容体として機能するが、β-エンドル

フィンに対する親和性は低い。また、さまざまな合成オピオイドおよび精神活性ジテルペンサルピノリン A の受容体としても機能する。リガンド結合により構造変化が起こり、Gタンパク質（Gタンパク質）を介したシグナル伝達が誘発され、アデニル酸シクラーゼなどの下流エフェクターの活性が調整される。シグナル伝達によりアデニル酸シクラーゼの活性が阻害される。カルシウムイオン電流を減少させ、カリウムイオン伝導性を増加させることで神経伝達物質の放出を阻害する。疼痛知覚に関与する。合成オピオイド投与時の身体活動低下の媒介に関与する。合成オピオイドに対する唾液分泌の調節に関与する。覚醒および自律神経機能と神経内分泌機能の調節に関与している可能性がある。

研究分野

神経科学

画像データ



カッパオピオイド受容体抗体を使用したラット脳溶解物中のカッパオピオイド受容体のウエスタンブロット分析。